

授業科目名	教育心理学			科目コード	T211-20				
科目区分	教職に関する科目 - 教職に関する科目	担当教員名	樋口 康彦						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	高校卒業程度の一般的知識	後継科目	教育相談						
関連科目	教師論、教育原理、教育課程総論								
資格等 取得との関連	栄養教諭二種免許に必須								
授業の概要	人間の学習のメカニズムや学習指導の理論、知的発達や人格発達、教育の評価、教師と子どもの関係などについて、広く学んでいく。また、基礎知識の習得に加え、それらをふまえて「教育現場で、自分自身が子どもにどのように関わるべきか」を学生自身が常に問い続け、考え続けることを重視する。								
学習目標	教育活動に携わる上で重要な、人間の心のしくみや働き、また、その発達のプロセスを理解する。そのために、教育心理学の主要領域を概観し、基礎的理解を深めることを目的とする。教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
キーワード	心理学、子ども、学校								
テキスト・ 参考書等	テキストは特になし。 参考書は、①「やさしい教育心理学」(有斐閣)、②「教育心理学 第3版 ベーシック現代心理学6」(有斐閣)。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	教育に携わる際に必要となる、人間の心の仕組みや働き、その発達のプロセスをきちんと理解していること。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	(該当しない)								
評価方法／ LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	70					30			100
LO-2									
LO-3									
備考	定期試験70%、その他A (30) は、積極性などの授業態度で評価する。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。教育心理とは何か。幼児期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。発達に関する代表的理論について。	
	【予習】シラバスを見て、授業内容を確認する。	15分
	【復習】オリエンテーション内容を振り返り、半期間の授業予定を確認する。	15分
第2回	発達を促す。児童期における心身の発達に対する外的・内的要因の相互作用。	
	【予習】「発達」と「成長」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第3回	発達の概念および教育における発達理解の意義。	
	【予習】教育心理学における発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第4回	乳幼児期から青年期における運動発達、言語発達について。	
	【予習】言語能力の発達について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第5回	乳幼児期から青年期における認知発達、社会性発達について。	
	【予習】対象永続性、保存の概念の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第6回	レスポナント条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤、モデリング、洞察について理解する。	
	【予習】「学習」の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第7回	様々な学習の形態や概念およびその過程を説明する代表的な理論について。	
	【予習】モデリング、学習の能率について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第8回	動機づけ、集団づくり、学習評価の在り方について発達の特徴と関連付けて理解する。	
	【予習】内発的動機づけ、外発的動機づけ、学級経営の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。	135分
第9回	やる気を高める工夫。学級集団の機能、学級集団の理解、学級集団の指導。学級集団の構造と教師の影響力について。	
	【予習】効果的な学級経営について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分
第10回	幼児・児童・生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方について理解する。	
	【予習】内発的動機づけを高めるための方法について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。	135分

第11回	レディネス、学習の転移、様々な学習法について理解する。	
	【予習】レディネスの意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第12回	知能の理論。知能の発達。流動性知能と結晶性知能。知能の恒常性。知能の週末低下。	
	【予習】知能の意味を調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第13回	性格の理論。性格形成の要因(遺伝と環境の要因)。親の養育態度が性格に与える影響。きょうだい関係が性格に与える影響。	
	【予習】性格形成の要因について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。テストの正答を確認する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第14回	欲求について。欲求階層説。ホメオスタシスとは何か。生理的適応と行動的適応。欲求不満耐性。	
	【予習】マズロー、欲求不満について調べ、プリントを読んでおく。	15分
	【復習】プリントの内容を復習する。また、最終テストに向けて総復習を始める。	180分
第15回	記憶のしくみ。記憶と忘却。エビングハウスの忘却曲線。長く記憶するための条件。フラッシュバルブ記憶について。テストの説明。	
	【予習】記憶のしくみについて調べる。	420分
	【復習】今回のプリントの内容を復習する。 これまでの授業を振り返り、章ごとに重要点をまとめる。	120分

授業科目名	保育原理				科目コード	C111-10			
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育			担当教員名	石動 瑞代				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)				後継科目	保育者論 子どもと社会				
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	①保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 ②保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 ③保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版 』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状を的確に把握し、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法／ LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	10	10			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4			10			5			15
LO-5						5			5
備考	その他Aは、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か① ～保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第1章を読み、内容を理解する。	60分
第2回	保育とは何か② ～養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】P11の内容をノートに書いておく。 テキスト第2章『現代社会と子どもの育ち』のp30まで読んでおく。	100分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 テキスト第8章の関連部分を読み、内容を理解する。	80分
第3回	子ども観と保育観① 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】前回の講義中に提示されたテーマについて、自分の考えをまとめて、文章で表す。	80分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 他者の意見を聞いて感じたことをまとめて、文章化する。	60分
第4回	子ども観と保育観② 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】 テキスト第7章を読み、内容をまとめる。	40分
	【復習】参考文献、資料等を読んで、子ども観・発達観・保育観についてまとめる。	120分
第5回	集団施設保育の意義と役割 保育所・幼稚園・認定こども園等の機能を理解し、その社会的役割を考える。	
	【予習】テキスト 第3章の制度と現状を読み、分かりにくい語句などを調べておく。	60分
	【復習】集団保育施設の制度等を整理してまとめる。 教科書第2章現代社会と子どもの育ちのp30～ を読んで、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読んでおく。	30分
	【復習】指針や要領等にかかれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 教科書第8章『保育の基本』を読み、内容をまとめておく	30分
第7回	保育の内容と方法① 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、章立てを理解する。 指針第3章、要領第2章、教育・保育要領第2章を読む。	40分
	【復習】講義内容をノートにまとめるとともに、指針・要領等の重要語句を覚える。 小テストにむけて、準備のための学習をする。	240分
第8回	保育の内容と方法② 保育の内容と方法の関連を、具体的な事例を通して学ぶ。 小テスト実施	
	【予習】前回のノートや指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】小テストの結果を確認し、理解が不十分な点について、テキスト・ノート等で確認する。 教科書第10章『保育の方法と進め方』第11章『保育の計画と保育の質の向上』を読む。	50分
第9回	保育の歴史と思想① 西欧の保育の歴史を学ぶ コメニウス～フレーベルの思想から	
	【予習】テキスト第5章『世界の保育の歴史に学ぼう』を読む。	40分
	【復習】コメニウス～フレーベルまでの主要な思想家の思想と著書等を整理してまとめる。	150分
第10回	保育の歴史と思想② 西欧の保育の歴史を学ぶ モンテッソーリとシュタイナーの思想から	
	【予習】配布資料を読んでおく。	30分
	【復習】モンテッソーリ保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。 シュタイナー保育について、理念や保育方法の特徴をまとめる。	120分

第11回	保育の歴史と思想③ 日本における保育の歴史と思想	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。	120分
第12回	保育の歴史と思想④ 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】配布資料を十分に読んでおく。 テキスト第4章『保育者に求められるもの－資質と専門性－』を読む。	40分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。 小テストにむけて、これまでの学習内容を整理してまとめる。	240分
第13回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。小テスト実施	
	【予習】テキスト第13章『海外の保育に目を向けてみよう』を読み、疑問や質問を文章化しておく。 インターネットで、諸外国の保育制度について調べる。	60分
	【復習】課題プリントを仕上げる（海外の取り組みから、日本の保育制度の課題を考え、レポート用紙に書く） 小テストの出題内容について、再確認しておく。	180分
第14回	家庭における保育 家庭における保育の実情を知る。家庭生活と子どもの発達との関連について考える。	
	【予習】テキスト12章『大切な保護者支援と地域連携』を読む。	40分
	【復習】テキスト、資料などの内容から保育所等における子育て支援の在り方について、レポートを作成する。	180分
第15回	現在の保育における課題 小学校との連携、保育の質の向上	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	40分
	【復習】これまでの講義内容のまとめ 定期試験のための準備学習	240分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験	臨床心理士として、保育、教育、福祉、医療現場で子どもと保護者の発達及び心理相談に20年以上携わる。特に10年以上の保育カウンセラー、保育巡回相談員としての経験を活かし、保育者に必要な子どもと保護者、家庭の発達の、心理的な理解								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの理解と援助 教育相談					
関連科目	子ども家庭支援の心理学								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	1．保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2．子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3．乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義を理解する。								
キーワード	発達心理学 発達過程 学びの過程 乳幼児期の発達								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代編（2019）「保育の心理学」 みらい								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 子どもの発達支援に必要な技能を学べている								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 学習した知識・技術を結び付けて考え、実践的課題に関連付けた思考や表現ができる								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 授業への意欲・関心をもって主体的に学べている								
LO-5	〔人間性・社会性〕 グループ作業での仲間との協働、協力を積極的に図ることができる								
評価方法／ LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	20		10			60	10		100
LO-1	15		5			20			40
LO-2	5					20			25
LO-3			5			5	5		15
LO-4						5	5		10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中のワークシートやコメントシート、Bは授業中の発表								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を理解する意義 授業計画、授業の進め方、授業のルールなどのガイダンス,赤ちゃんアンケート1回目実施	
	【予習】 シラバスを見て授業内容を確認	20分
	【復習】 オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り	90分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第3回	初期経験の重要性と生涯発達の視点	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達—アタッチメント、情動調整	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達—自己意識、他者理解、感情の発達	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第7回	子どもの発達過程：認知発達	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第8回	子どもの発達過程：言葉の発達	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第9回	心身の障がいと発達支援、発達診断とアセスメント	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第10回	発達障がいの理解と支援	
	【予習】 教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】 授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分

第11回	虐待による臨床的問題と発達支援	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第12回	子どもの学びの過程と特性	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第13回	学び関する発達理論－ 学習理論、動機付け	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第14回	乳幼児期の学びに関わる理論－遊びを通した学び	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分
第15回	乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書を読んで授業内容を確認	90分
	【復習】授業中のノート・プリントを見直し・整理	90分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	高木 三郎					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	児童社会					
関連科目	保育原理 児童家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等から、現代学校教育の成り立ちと変遷を理解し、現代の教育の課題や教師(保育士)のあり方等の教育の本質に関する理論的・実践的知識の基礎を学ぶ。								
学習目標	1 (幼児)教育の歴史や思想を基に、教育(保育)に関する基礎的な理論を理解する。 2 幼稚園教育と小学校教育の連続性を視点に、教育課程の内容・意義・編成の方法を理解する。 3 日本や諸外国の教育制度について理解する。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『子どもの教育の原理～保育の明日をひらくために～』編著 古橋和夫 萌文書林								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	(幼児)教育の基礎・基本的な理論・歴史・制度等について理解を深め、教育に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	(該当しない)								
LO-3	学修した知識を総合して、教育の基本について適切な判断ができ、説明することができる。								
LO-4	教育の課題について関心をもって意欲的に把握することに努め、学びを深めることができる。								
LO-5	(該当しない)								
評価方法／ LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	20								20
LO-4			10			20			30
LO-5									
備考	その他 A は平常点(受講態度等) 提出を求めるレポートについては、コメントをつけて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の目的、評価などについて	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。	45分
	【復習】授業の全体像を確認する。	45分
第2回	教育の理念と子ども観	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2～p 2 7）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】「教育とは何か」「子どもとは何か」について確認し、自分の子ども観や教育観について考える。	90分
第3回	幼児教育を築いた人々①	
	【予習】テキストの該当部分（p 2 8～p 3 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第4回	幼児教育を築いた人々②	
	【予習】テキストの該当部分（p 4 0～p 5 1）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】西洋の主な教育理論や日本の教師（保育士）に影響を与えた教育者とその理論を確認する。	90分
第5回	わが国の教育史の概要	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 2～p 6 8）、及び子育てに関わる謠や伝承を調べておく	90分
	【復習】日本の近代以前の教育の特徴、及び近代以降の教育の変遷について確認する	90分
第6回	わが国の幼児教育と保育の歴史	
	【予習】テキストの該当部分（p 5 9～p 6 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】わが国戦後における幼児教育と保育の変遷を確認する	90分
第7回	教育と児童福祉における目的と目標（その1）	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 0 6～p 1 1 4）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第8回	教育と児童福祉における目的と目標（その2） 具体的事例を通して理解を深める	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 1 4～p 1 1 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】幼稚園及び保育所の目的と目標を確認する	90分
第9回	わが国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 0～p 1 2 6）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】日本の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分
第10回	外国の幼児教育・保育の制度	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 2 7～p 1 4 0）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】外国の幼児教育・保育の制度を確認する。	90分

第11回	子どもの発達の特徴と遊び（その1）	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 6 2～p 1 7 4）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】0～2歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第12回	子どもの発達の特徴と遊び（その2）	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 7 5～p 1 8 9）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】3～5歳児の各年齢の発達の特徴と遊びを整理し、保育者のかかわりのポイントを確認する	90分
第13回	教育課程・保育課程の編成と教育評価	
	【予習】テキストの該当部分（p 1 4 2～p 1 6 1、p 1 9 0～2 1 1）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】教育課程・保育課程の意義と作成方法、および教育評価の方法を確認する	90分
第14回	現代の教育課題について（生涯学習社会、家庭、地域との関わり、特別支援教育）	
	【予習】テキストの該当部分（p 2 2 6～p 2 3 7）を読んで不明な部分を把握する。また、テキスト以外の文献等で調べる。	90分
	【復習】生涯学習社会における幼児教育の意義、家庭や地域が教育に果たす役割、及び特別支援教育の考え方を確認する	90分
第15回	これからの保育者に求められるもの	
	【予習】自分の理想とする保育士像を確認する	90分
	【復習】自分の理想とする保育士像について改めて確認する	90分

授業科目名	簿記演習Ⅱ			科目コード	M133-22				
科目区分	専門科目 - 会計科目 - 会計		担当教員名	藤野 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日商簿記3級合格者（レベル）対象。日商簿記検定2級の内容に一通り触れていることが望ましい		後継科目	管理会計 原価計算演習					
関連科目	財務会計 原価計算								
資格等 取得との関連	日商簿記3級、上級ビジネス実務士（領域2）、上級情報処理士（領域2） ウェブデザイン実務士（－）、秘書士（－）、ビジネス実務士（領域2）、情報処理士（領域2）								
授業の概要	日商2級の問題集の練習問題演習を中心とします。2級は商業簿記と工業簿記に分かれますが、商業簿記を中心とした問題演習を行います。 日商3級合格者（レベル）対象であることを理解して受講してください。								
学習目標	日商簿記検定2級練習問題レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
キーワード	日商簿記検定2級								
テキスト・ 参考書等	合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0（TAC出版） 合格トレーニング 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0（TAC出版）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】日商簿記2級レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
LO-2	【技能・表現力】								
LO-3	【思考・判断力】								
LO-4	【関心・意欲・態度】能動的で積極的な学習態度がみられる。								
LO-5	【人間性・コミュニケーション力】								
評価方法／ LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4						20			20
LO-5									
備考	電卓（12桁）を持参すること。（スマートフォン等で代用することは禁止）								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス		
	【予習】シラバスを読み、授業の概要や目的を把握する。		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第2回	商品売買（分記法、売上原価対立法、三分法）について理解する。また、棚卸減耗損、商品評価損について理解する。		
	【予習】3級の商品売買（分記法、三分法）について復習する。		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第3回	現金および預金		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第4回	有形固定資産		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第5回	リース取引		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第6回	無形固定資産等と研究開発費		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第7回	引当金		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第8回	外貨換算会計		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第9回	税金		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第10回	株式の発行		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分

第11回	剰余金と配当の処分	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第12回	決算手続	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第13回	収益・費用の認識基準	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第14回	伝票式会計	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第15回	課税所得の計算	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分

授業科目名	高齢者福祉論Ⅰ			科目コード	W121-12				
科目区分	専門科目 - 介護 - 介護の基本		担当教員名	関 好博					
実務経験	大学卒業後、高岡市社会福祉協議会に入職。ボランティアコーディネーターをはじめ、福祉教育、地域福祉活動、日常生活自立支援事業、共同募金などを担当する。17年間の勤務ののち、短大教員に転向。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ、生活支援技術Ⅰ・Ⅱ、社会保障、介護過程Ⅰ・Ⅱ		後継科目	介護福祉論Ⅳ、介護過程Ⅲ、介護福祉総合演習Ⅰ・Ⅱ					
関連科目	介護福祉論Ⅰ・Ⅱ、生活支援技術Ⅰ・Ⅱ、社会保障、認知症ケア論Ⅰ・Ⅱ、障害者ケア論Ⅰ・Ⅱ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	高齢者支援の基本理念や高齢者理解の視点に基づき、実際に展開する上での各専門職との連携や協働を効果的に進める方法について考察する。また、現在のわが国における社会的課題である介護の概念やその支援展開の方法について学ぶ								
学習目標	①高齢者支援におけるソーシャルワークアプローチの展開方法について理解する ②高齢者支援の展開過程や各局面における支援者の展開にいて習得する ③介護の概念や介護過程の展開についての知識を得る								
キーワード	高齢者支援、ケアマネジメント、介護								
テキスト・ 参考書等	社会福祉士養成講座編集委員会編「高齢者に対する支援と介護保険制度」（中央法規）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	生命倫理や介護従事者に必要な倫理に関する知識、介護実践における倫理的課題と利用者の人権について理解する。また、介護の安全や従事者の安全確保に必要な基本的知識を有している。								
LO-2	介護従事者に求められる倫理観や高齢者虐待に関する自己の考え等を表現することができる。								
LO-3	介護従事者に求められる倫理観や高齢者虐待に関する知識を基に、介護場面で遭遇する倫理的課題を解決するうえで必要な判断力を有している。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	超高齢社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法／ LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	50								50
LO-2	10								10
LO-3	20								20
LO-4	10								10
LO-5	10								10
備考	期末試験（筆記）で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	高齢者の社会的理解		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢期における生活の変化と適応、家族と社会関係、社会参加と生きがい、高齢者の安全と差別について復習する		90分
第2回	高齢者の身体的理解と精神的理解		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】加齢に伴う身体機能の変化・基礎運動能力の変化、高齢者へのイメージ、高齢者の心理的特徴、老年期の心の病気を復習する		90分
第3回	高齢者の総合的理解、少子高齢社会と社会的問題、		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】生涯発達の意味、高齢者の人生と社会変動、死とスピリチュアリティ、少子高齢社会、人口高齢化の地域間格差についてまとめる。		90分
第4回	少子高齢社会と社会問題の2、高齢者を取り巻く諸問題		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢者を取り巻く家族の状況、高齢者の健康問題、高齢者の介護問題、高齢者の経済的問題など理解する		90分
第5回	高齢者を取り巻く諸問題の2、		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢者の生活意識の問題、		90分
第6回	高齢者保健福祉の起源と生成		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢者の古来からの定義、高齢者は過去にどれくらい存在したか、姥捨て山伝説と高齢者の遺棄、老後の生活、古代から近世への高齢者福祉の歴史、近代の高齢者福祉について理解する		90分
第7回	高齢者保健福祉制度の発展		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】第二次世界大戦後から昭和30年代の高齢者保健福祉、昭和40～60年代の高齢者保健福祉、平成の高齢者保健福祉について理解する		90分
第8回	高齢者保健福祉の法体系、老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢社会対策基本法、高齢社会対策大綱の概要、老人福祉法、老人福祉計画、優良老人ホーム、高齢者医療確保法、高齢者医療制度をめぐる動向と課題について復習する		90分
第9回	高齢者虐待防止法、その他の関係法規		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】高齢者虐待防止法、バリアフリー新法（改正）、高齢者住まい法、権利擁護と成年後見、社会参加と生涯学習について理科を深める。		90分
第10回	介護保険制度の基本的枠組み		
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる		90分
	【復習】介護保険制度の全体像、介護保険制度の目的と理念、介護保険法改正の背景と方向性について理解を深める		90分

第11回	介護保険制度の基本的枠組み 2	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】介護保険財政、保険者と被保険者、介護保険給付の対象者、要介護認定のプロセス、保険給付、介護報酬について理解する	90分
第12回	介護保険制度の仕組み 地域支援事業、介護保険事業計画、サービスの質を確保するための仕組み、介護保険サービスにおける専門職の役割と実際など	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】地域支援事業、介護保険事業計画と、介護サービスの質を確保するための仕組み、専門職の役割と実際について理解する	90分
第13回	介護保険サービスの体系 居宅・施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービスについて	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】居宅サービス、住宅改修サービス、施設サービス、介護予防サービス、地域密着型サービスについての理解を深める	90分
第14回	前期の学習を練習問題で振り返る	
	【予習】テキスト前半部分を読んでくる	90分
	【復習】練習問題をもとに前期の学習を振り返る	90分
第15回	前期のまとめ	
	【予習】1回から14回までのテキスト範囲、配布資料と該当する部分の国試ナビを見てくる	90分
	【復習】国試ナビを使って前期の学びを確認する	90分